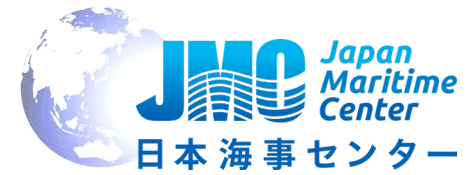


# 【シンポジウム】



## 「東アジア物流における日本企業の取り組みと課題」

(株)NX総合研究所リサーチフェロー 田阪 幹雄 氏

### <略歴>

1978年中央大学法学部政治学科卒業、1978年日本通運株式会社入社、1983年貿易研修センター（IIST: Institute of International Study & Training）卒業、1983年米国研修（米国日通及びユニオンパシフィック鉄道）、1987年 米国日通勤務（シカゴ）、1999年米国日通勤務（ニューヨーク→シカゴ）通算17年間、2008年株式会社日通総合研究所入社、コンサルティング部門統括、2014年同社専務取締役、2018年同社リサーチフェロー（顧問）

得意分野 : 国内、海外にわたる輸出入制度・物流事情、国際複合輸送・フレイトフォワーディング

著 書 : 『グローバルロジスティクスと貿易』（2017年、ウェイツ、共著）

論 文 : 『越境ECの発展による国際物流環境の変化』（港湾、2017年10月号）、『日本の運送事業が乗り越えねばならない「本質的課題」とは？』（道路、2018年9月号）、『ロジスティクスのIoT化の鍵を握る血液としてのデータ』（経団連、2018年12月号）、『日本の物流、グローバルな視点から見ると…』（明日の食品産業、2019年4月号）、『トランプ保護主義がSCMに与える影響』（ロジスティクス・ビジネス、2019年7月号）、『物流から見た意外に知られざる米国事情』（流通ネットワークキング、2019年7・8月号）等々

講師・委員 : 流通経済大学国際物流実践講座講師、京都大学・経営管理大学院「グローバルロジスティクスと海運」講師、（一社）国際フレイトフォワーダーズ協会・国際複合輸送士資格認定講座講師、日本マテリアルハンドリング協会・ロジスティクスMH管理士講座講師、（公社）日本ロジスティクスシステム協会・物流技術管理士／国際物流管理士資格認定講座講師、日本商工会議所・社会資本整備専門委員会学術委員

直近講演テーマ : 令和2年度高松港ポートセミナー「世界と日本の物流の現状とポストコロナ時代の展望」（2021年3月19日）、神戸税関シンポジウム「コロナ禍がグローバルロジスティクスに与えた影響とポストコロナ時代の展望」（2021年4月20日）、東日本梱包管理士会第二支部講演会「新型コロナウイルス感染症拡大による国際コンテナ不足の原因及び今後の見通し」（2021年4月27日）、第2回 財務総合政策研究所・日通総合研究所共催貿易・国際物流ワークショップ、「新型コロナウイルス感染症拡大が一带一路の一環としてのチャイナ・ランドブリッジの運行に与えた影響」（2021年5月18日）、東京通関業会セミナー「来るべきポストコロナ時代のグローバルロジスティクスとは」（2021年10月14日）、日通総研・国際物流ウェビナー「コロナ禍がグローバルロジスティクスに与えた影響とポストコロナ時代の展望」（2021年11月17日）